

# 放課後等デイサービス自己評価表 (事業者向け)

株式会社 ニューズ  
実施月：2024年1月  
調査人数：5名

## キッズ・あいびい～Ⅱ

公表：2024年2月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	3	/	
	2	職員の配置数は適切であるか	2	1	2	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	1	
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	2	1	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	1	/	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	/	/	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	/	3	
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	/	/	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	/	/	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	2	/	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	/	/	
	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	4	1	/	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2	/	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	/	/	
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	/	/	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	/	1	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1	1	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	/	/	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	3	2	/		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子ども下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等との連絡体制を整えているか	1	3	1	
	23	就学前に利用していた保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	3	1	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	4		
	25	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4	1	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	2	
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		3	2	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共有理解を持っているか	5			
保護者への説明責任	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	1	
	30	運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	5			
	31	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	4		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5			
	35	個人情報に十分注意しているか	5			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	1		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	2	
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1	1	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			
	40	虐待防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画等に記載しているか	4	1		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			

## 放課後等デイサービス自己評価表（事業者向け）

事業所名	キッズ・あいびい〜Ⅱ
------	------------

### ご意見・改善目標

【①利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか。】

・定員と指導訓練スペースの関係は適切に守っていますが、利用時間の多くを事業所内ではなく公園や地域の店舗など社会資源を活用し、グループ化した外出活動を展開することで、限られたスペースで過ごすのではなく、適性或支援内容に合わせた過ごし方を組みこんでいます。

【⑧職員の資質向上を行う為の、研修を確保しているか。】

・年間を通した全事業所の合同研修、及び事業所内で随時勉強会をしています。

【⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、計画書を作成しているか。】

・責任者だけではなく、社員全体のそれぞれの見立てや意見を汲み取り、計画書を作成しています。

【⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールをしようしているか。】

・障害者施設で活用されているアセスメント法を用いて、将来を見通した児童版独自のアセスメント表を使用しています。

【⑫活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。】

・毎日変化している体調や心の状態、年齢による活動内容の違い、趣味趣向の違いなどを考慮して、公園や地域の施設や店舗など社会資源を大いに活用した活動をグループ化して取り組んでいます。

【⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援をしているか。】

・平日は放課後の時間の豊かさを考えた取り組みを考え、休日や長期休みは活動の豊かさに加え、食事や排泄支援など積み重ねの時間を要する自立支援を設定しています。

【⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて計画を作成しているか。】

・本人の生活面などの自立に向けた支援、社会生活で必要となる支援など成長や年齢に合わせて必要な支援を考える様にしています。

【⑮支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認をしているか。】

・午前のミーティングで一人一人の利用児童の体調や様子、人間関係などを全体で把握し、活動メニューや担当、役割分担を明確にしています。

【⑯ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。】

・余暇の持ち方や楽しみ方、放課後の時間のあり方など、地域の資源を大いに活用して、子ども達の心の向きに合わせて活動の幅を広げ、その環境を土台にした支援アプローチをしています。

【⑰学校との情報共有（下校時刻等）、連絡調整（送迎時の対応等）を適切に行っているか。】

・学校迎え時に体調や心身面の情報など、必要なことがあれば学校と情報を共有しています。また事業所の取り組みや支援の視点なども共有できるように配慮しています。

【⑱児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。】

・専門機関との連携が必要なケースがあれば積極的にしたいと考えています。外部研修の受講は今年度もスタッフと参加してきました。

【㉑保護者から子育ての悩み当に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。】

・ご家庭において相談や悩みを受けた場合は、個々に出来る限りの助言や支援をさせていただいています。